



# 令和7年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

令和6年11月5日

上場会社名 株式会社 松屋フーズホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9887 URL <https://www.matsuyafoods-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瓦葺 一利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中村 洋一

TEL 0422-38-1121

半期報告書提出予定日 令和6年11月11日

配当支払開始予定日

令和6年12月5日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和7年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(令和6年4月1日～令和6年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期中間期	72,387	22.6	1,884	17.3	2,206	17.1	783	41.0
6年3月期中間期	59,031	15.5	1,606	590.5	1,885	23.0	1,327	39.3

(注) 包括利益 7年3月期中間期 822百万円 (41.2%) 6年3月期中間期 1,398百万円 (51.5%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
7年3月期中間期	41.09	
6年3月期中間期	69.65	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
7年3月期中間期	94,347	44,466	47.1	2,332.57
6年3月期	91,120	43,873	48.1	2,301.46

(参考) 自己資本 7年3月期中間期 44,466百万円 6年3月期 43,873百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年3月期		12.00		12.00	24.00
7年3月期		12.00			
7年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和7年3月期の連結業績予想(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	149,500	17.2	3,000	43.6	3,650	39.0	1,200	58.8	62.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日公表(令和6年11月5日)の「令和7年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	7年3月期中間期	19,063,968 株	6年3月期	19,063,968 株
期末自己株式数	7年3月期中間期	527 株	6年3月期	435 株
期中平均株式数 (中間期)	7年3月期中間期	19,063,495 株	6年3月期中間期	19,063,634 株

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP3「1. 経営成績等の概要 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、令和6年11月5日に当社Webサイトにて公開する予定です。

<https://www.matsuyafoods-holdings.co.jp>

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景とした個人消費の改善やインバウンド需要の拡大の動きが見られる一方、円安・国際情勢等による物価上昇の継続等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、原料、資材、人件費、エネルギー単価の高騰等により、経営環境は依然厳しい状況が続いております。

このような環境の中で、当社グループは、“みんなの食卓でありたい”をスローガンに、「新規出店」「既存店改装」「人材投資」の持続的成長投資に重点を置き、以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、牛めし業態33店舗、とんかつ業態8店舗、鮭業態3店舗、その他業態5店舗の合計49店舗を出店いたしました。一方で、直営の牛めし業態店2店舗につきましては撤退し、当中間連結会計期間末の店舗数はFC店を含め、1,312店舗（うちFC5店舗、海外18店舗）となりました。この業態別内訳としては、牛めし業態1,065店舗、とんかつ業態192店舗、鮭業態15店舗、海外・その他の業態40店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、143店舗の改装（全面改装2店舗、一部改装141店舗）を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

また、人材投資として、ベースアップ等の待遇改善に加え、オンライン研修サービス導入等の教育投資を展開してまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、「カルビホルモン丼」「高菜明太マヨ牛めし」「てりやきエッグハンバーグ定食」等に加え、松屋の世界紀行シリーズとしてロモサルタード風「ネギたっぷり牛肉のエスニック炒め定食」、「ポーランド風ミエロニハンバーグ」、アルゼンチンの味「チミチュリソースハンバーグ定食」等の新商品の販売をいたしました。

これらの取り組みの結果、当中間連結会計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店売上が前年同期比117.3%と前年を上回ったことに加え、前年度以降の新規出店等による売上増加分が寄与したこと等により、前年同期比22.6%増の723億87百万円となりました。

エネルギー費、各種調達価格の上昇等により、原価率は前年同期の34.2%から35.1%と上昇いたしました。一方、売上高の増加により、固定費の占める割合が低下したこと等により、販売費及び一般管理費につきましては、前年同期の63.1%から62.3%へと改善いたしました。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高比は、前年同期の66.4%から66.5%となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期比17.3%増の18億84百万円、経常利益は前年同期比17.1%増の22億6百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比41.0%減の7億83百万円となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### （2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は943億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億26百万円増加いたしました。このうち、流動資産は297億12百万円となり、原材料及び貯蔵品が14億53百万円増加した一方、現金及び預金が40億54百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ24億55百万円減少いたしました。また、固定資産は646億34百万円となり、新規出店や店舗改装、工場生産設備などへの投資による有形固定資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ56億81百万円増加いたしました。

当中間連結会計期間末における負債は498億80百万円となり、未払法人税、長期借入金の返済等の減少要因があった一方、短期借入金、買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ26億33百万円増加いたしました。

当中間連結会計期間末における純資産は444億66百万円となり、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ5億92百万円増加いたしました。自己資本比率は前連結会計年度末の48.1%から47.1%となっております。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ40億54百万円減少し、119億65百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は19億45百万円（前年同期は28億80百万円の収入）となりました。

これは「減価償却費及びその他の償却費」25億97百万円や、「税金等調整前中間純利益」17億71百万円、「仕入債務の増減額」13億81百万円といった資金増加要因があった一方、「棚卸資産の増減額」19億55百万円や、「法人税等の支払額」15億63百万円、「未払消費税等の増減額」8億99百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は84億76百万円（前年同期は55億46百万円の支出）となりました。

これは新規出店・既存店改装や工場生産設備等の設備投資実施による「建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出」69億68百万円や、「店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出」10億54百万円、「関係会社株式の取得による支出」5億1百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は24億37百万円（前年同期は22億33百万円の収入）となりました。

これは「短期借入による収入」60億円といった資金増加要因があった一方、「長期借入金の返済による支出」28億10百万円や、「リース債務の返済による支出」4億47百万円、「配当金の支払額」2億28百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

円安、資源高騰等、依然として今後の先行きは不透明な状況にあります。

このような環境下の中、今後も食のインフラとしての責務を果たすべく、新商品の販売等の販売促進活動の強化、新規出店の拡大、既存店舗の改装等を積極的に実施し、業容の拡大を目指してまいります。同時に、コスト構造改革を推し進め、収益向上を図ってまいります。

令和7年3月期の連結業績予想数値につきましては、本日公表（令和6年11月5日）の「令和7年3月期通期業績予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当中間連結会計期間 (令和6年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,120,428	15,065,553
受取手形、売掛金及び契約資産	4,517,253	4,400,931
商品及び製品	1,373,299	1,706,805
原材料及び貯蔵品	4,815,812	6,269,355
その他	2,340,816	2,269,866
流動資産合計	32,167,609	29,712,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,316,914	26,020,083
機械装置及び運搬具（純額）	2,232,120	2,067,629
工具、器具及び備品（純額）	3,308,519	4,015,136
リース資産（純額）	2,467,359	2,622,177
土地	9,344,473	9,344,473
建設仮勘定	349,121	601,698
その他（純額）	539,655	602,895
有形固定資産合計	40,558,163	45,274,093
無形固定資産		
ソフトウェア	379,228	338,215
その他	110,118	166,304
無形固定資産合計	489,346	504,520
投資その他の資産		
投資有価証券	91,301	90,983
敷金及び保証金	12,177,859	12,518,109
長期前払費用	389,817	436,303
店舗賃借仮勘定	689,909	894,989
繰延税金資産	3,676,626	3,549,842
投資不動産（純額）	100,714	85,644
その他	789,098	1,290,166
貸倒引当金	△9,650	△9,810
投資その他の資産合計	17,905,677	18,856,230
固定資産合計	58,953,187	64,634,845
資産合計	91,120,797	94,347,357

（単位：千円）

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当中間連結会計期間 (令和6年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,775,744	4,161,636
短期借入金	—	6,000,000
1年内返済予定の長期借入金	5,596,116	5,467,224
未払金	6,757,413	6,198,645
リース債務	776,867	889,571
未払法人税等	1,567,640	877,714
賞与引当金	1,306,865	1,234,777
その他	3,193,849	2,144,927
流動負債合計	21,974,496	26,974,497
固定負債		
長期借入金	17,708,058	15,026,502
役員退職慰労引当金	567,800	567,800
リース債務	2,510,214	2,637,246
資産除去債務	4,341,955	4,530,731
繰延税金負債	2,038	2,750
その他	142,252	141,020
固定負債合計	25,272,318	22,906,051
負債合計	47,246,815	49,880,548
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,976,404	6,976,404
利益剰余金	30,148,225	30,702,711
自己株式	△1,430	△2,008
株主資本合計	43,779,131	44,333,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,935	1,715
為替換算調整勘定	92,914	132,053
その他の包括利益累計額合計	94,850	133,768
純資産合計	43,873,981	44,466,808
負債純資産合計	91,120,797	94,347,357

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日）
売上高	59,031,593	72,387,270
売上原価	20,170,585	25,429,899
売上総利益	38,861,007	46,957,370
販売費及び一般管理費	37,254,119	45,072,825
営業利益	1,606,887	1,884,544
営業外収益		
受取利息	9,081	17,297
受取配当金	1,869	1,875
受取賃貸料	100,094	98,314
業務受託料	146,759	165,780
その他	186,172	274,371
営業外収益合計	443,976	557,640
営業外費用		
支払利息	49,790	84,364
賃貸費用	99,564	95,884
その他	16,461	55,020
営業外費用合計	165,816	235,270
経常利益	1,885,048	2,206,915
特別利益		
固定資産売却益	6,211	147
収用補償金	—	41,003
その他	2	—
特別利益合計	6,214	41,151
特別損失		
固定資産除却損	528	7,710
店舗閉鎖損失	1,430	37
固定資産売却損	8,540	4,431
減損損失	504,387	407,809
和解金	—	52,803
その他	—	4,126
特別損失合計	514,885	476,917
税金等調整前中間純利益	1,376,376	1,771,148
法人税、住民税及び事業税	425,665	860,307
法人税等調整額	△376,993	127,593
法人税等合計	48,672	987,900
中間純利益	1,327,704	783,247
親会社株主に帰属する中間純利益	1,327,704	783,247

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日）
中間純利益	1,327,704	783,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,397	△220
為替換算調整勘定	69,413	39,139
その他の包括利益合計	70,810	38,918
中間包括利益	1,398,515	822,166
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,398,515	822,166
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,376,376	1,771,148
減価償却費及びその他の償却費	2,090,833	2,597,887
減損損失	504,387	407,809
賞与引当金の増減額（△は減少）	△144,340	△73,230
受取利息及び受取配当金	△10,950	△19,172
支払利息	49,790	84,364
有形固定資産除売却損益（△は益）	2,856	△29,009
店舗閉鎖損失	1,430	37
建設仮勘定・店舗賃借仮勘定からの振替等調整費用	925,312	1,253,945
売上債権の増減額（△は増加）	△352,624	119,499
棚卸資産の増減額（△は増加）	△244,671	△1,955,843
仕入債務の増減額（△は減少）	△44,082	1,381,261
未払消費税等の増減額（△は減少）	△891,009	△899,969
未収消費税等の増減額（△は増加）	—	28,758
その他	346,061	△1,158,179
小計	3,609,370	3,509,308
法人税等の支払額	△728,883	△1,563,453
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,880,487</b>	<b>1,945,855</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出	△4,310,715	△6,968,965
有形固定資産の売却及び収用等による収入	134,742	41,426
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出	△700,657	△1,054,770
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の減少による収入	32,140	127,163
利息及び配当金の受取額	2,435	5,722
関係会社株式の取得による支出	—	△501,899
その他	△704,674	△125,375
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△5,546,729</b>	<b>△8,476,699</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	5,000,000	6,000,000
長期借入金返済による支出	△2,200,878	△2,810,448
リース債務の返済による支出	△291,095	△447,104
自己株式の売却による収入	141	—
自己株式の取得による支出	△246	△577
利息の支払額	△45,808	△76,085
配当金の支払額	△228,763	△228,762
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,233,348</b>	<b>2,437,021</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,320	38,947
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△422,572	△4,054,874
現金及び現金同等物の期首残高	11,779,375	16,020,428
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	147,829	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,504,632	11,965,553

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、令和6年6月26日開催の定時株主総会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払を行いました。この結果、第1四半期会計期間において、利益剰余金が228,762千円減少しております。

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日	配当の原資
令和6年6月26日 定時株主総会	普通株式	228,762	12	令和6年3月31日	令和6年6月27日	利益剰余金

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自令和5年4月1日 至令和5年9月30日）及び当中間連結会計期間（自令和6年4月1日 至令和6年9月30日）

当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。